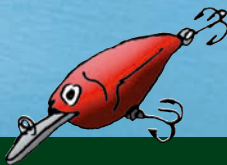


ぶんしょう ようご かいせつ
★ 文章にでてきた「釣り用語」の解説 ★

- ①アタリ(10ページ) : 魚がエサを食いついたときに竿または手にかんじること。
- ②エサつり(3ページ) : つり針に“生きエサ”または“加工エサ”をつけて魚をつる。(そのほかのつり方として、「サビキつり」「ウキつり」「シャクリつり」等があります。)
- ③落ち込み(8ページ) : 川の流れが川底の段差によりすこし水深が深くなっているところ。
- ④ガイド(9ページ) : リール竿についている糸を通す金具。
- ⑤管理つり場(16ページ) : 池や川をつりやすいように整備し、ニジマスやイワナなど内水面の魚を放流し、お金を払ってつりをするとところ。
- ⑥キャストする(8ページ) : 竿とリールを使って、つりの仕掛けをめあてのところに投げること。
- ⑦コマセ(11ページ) : 魚をつるときに、魚をよせるためのもの。(使用が禁止されている県・場所があるので注意してね)
- ⑧サラシ(7ページ) : 波がくだけて白く泡立っているところ。
- ⑨沈み根(7ページ) : 水面に姿を現していない海底の岩や障害物のこと。
- ⑩堤防のへち(7ページ) : 堤防の側面。
- ⑪道糸(9ページ) : 竿から仕掛けまでつかう糸のこと。



- ⑫リリース(17ページ) : つった魚をその場所に生きたままもどすこと。
キャッチアンドリリース(36ページ)
- ⑬リールの種類(9ページ)
- ・スピニングリール : 糸をまくスプールが固定されているリールで、使い方が簡単なリール。
 - ・両軸リール : 糸をまくスプールが回転し、スプールを両側で支えているリール。
 - ・片軸リール : 糸をまくスプールが回転し、スプールを片側だけで支えているリール。
 - ・電動リール : モーターを使って糸を巻き上げることのできるリール。
(スプール：リールの糸を巻いている部分)
- ⑭(社)日本釣用品工業会 : 釣り用品を作っている会社が集まって、釣り用品関係の発展を目的に組織された団体です。(35ページ)
- ⑮(財)日本釣振興会 : 釣り人およびつりに関係する会社が集まって、つりをレジャー・スポーツとして広く普及させるために作られた団体です。(35ページ)
- ⑯全国釣竿公正取引協議会 : 釣り竿を作っている会社が集まって、釣り竿の表示について正しく行なわれるように活動している団体です。(35ページ)

